

講義名	品質管理論				授業形態	
担当教員	保田 洋	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 3 時限			
		単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード

主題と概要

品質管理は、顧客の要求にあった商品(製品やサービス)を確実かつ経済的に提供するための活動、手法である。品質管理について、基本的な品質の捉え方と分析方法を学ぶ。

到達目標

1. 品質と品質管理について説明できるようになる。

2. 品質の維持、改善のための手法を活用できるようになる。

3. 品質の維持、改善活動の計画と実行ができるようになる。

提出課題

講義の中で提示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の中でフィードバックする。

評価の基準

授業内での小テスト（2回：50％）と課題（毎回15回：50％）で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

評価方法や授業の内容は初回の授業で説明するため、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。
この授業はパソコンを利用して授業を進めていく。

教科書

.使用しない.

参考図書

.なし.

その他

必要に応じて、プリント又は教材を配布する。
参考文献は必要に応じて随時紹介する。

授業計画

1. ものつくりと品質について

2. 品質と品質マネジメント（ISO）

3. 行程、プロセスとは

4. QC的問題解決方法

5. データ分析の実際

6. QC的考え方、分析方法（パレート図）

7. QC的考え方、分析方法（特性要因図）

8. QC的考え方、分析方法（ヒストグラム）

9. まとめと演習①

10. QC的考え方、分析方法（散布図）

11. QC的考え方、分析方法（管理図）

12. QC的考え方、分析方法（チェックシート）

13. QC的考え方、分析方法（PERT：アローダイアグラム）

14. 言語データの分析

15. まとめと演習②

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前学習として、事前に次回行う内容を話すのでキーワードと思われる所を開けておくこと（1時間）

毎回課題を出題するので、授業のまとめを行いながら課題に取り組むこと（授業のまとめ2時間、課題に1時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を受講することで、問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができるようになること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中にパソコンを利用して演習問題を解いていくので、疑問に感じるところはその都度質問し、解決すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり

現場での具体的な事例について解説する。

備考